

「まいぶれ」を利用した生物多様性プラットフォームの活用について

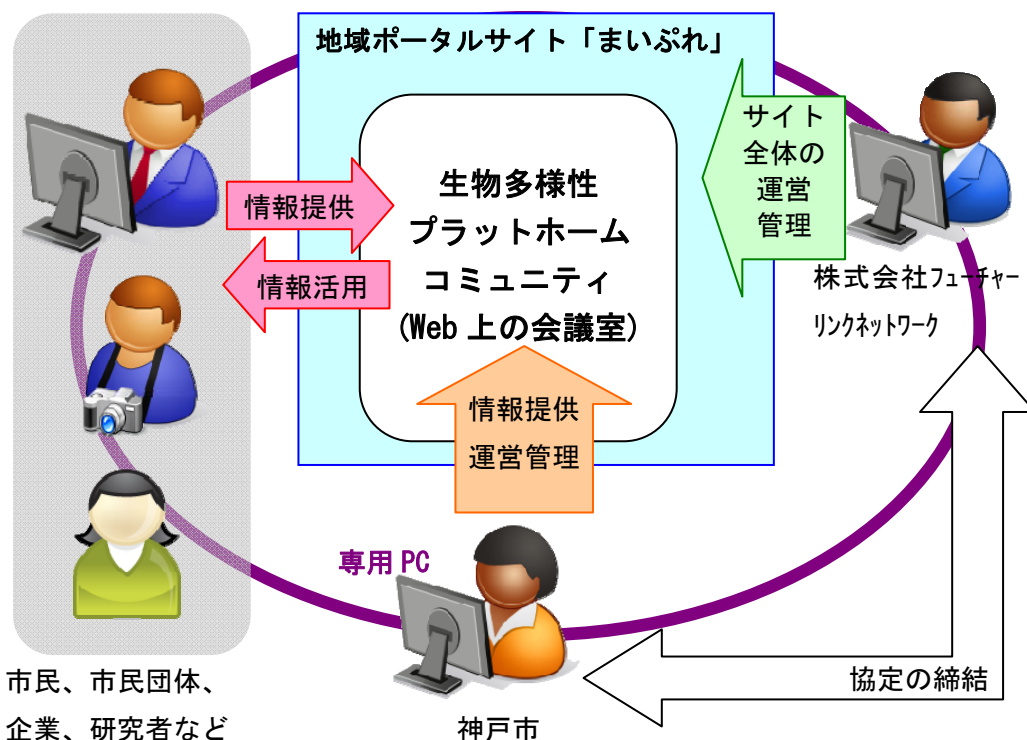
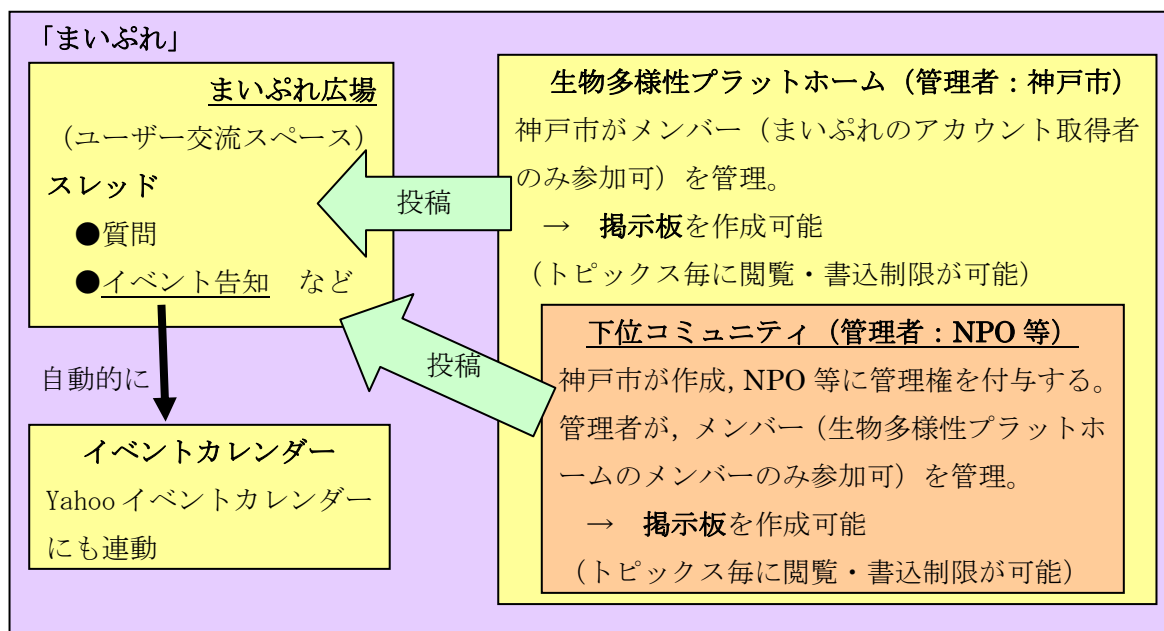
1. KOBE 生物多様性プラットフォームとは

「生物多様性 神戸プラン 2020」（平成23年2月）策定時に実施したアンケートや意見交換会において、市民団体同士が自由に情報を交換できる場を設けて欲しいとの要望が、市に寄せられていたことを受け、多様な主体（市民・市民団体・企業・研究機関・行政など）がWeb上で自由な意見交換・情報共有を行う場として、平成25年3月26日に公開した。

神戸市も、生物多様性に係る施策の進捗状況や成果・課題などの情報を当サイトに掲載する。

2. プラットホームの概要

株式会社フューチャーリンクネットワークが運営・管理する地域情報サイト「まいぶれ」上に、数多くある「まいぶれ」内のコミュニティ（Web上の会議室）の一つとして「KOBE 生物多様性プラットフォーム」を開設。



3. 活用例

(1) 掲示板の活用

- ① 協働の提案、モノ・場所・スキル・人材などに関する、各主体間のニーズのマッチング
- ② 「この生きものの名前が知りたい」などの相談や回答
- ③ 生物多様性に関する各主体の意見交換

(2) 各主体からのイベント情報の発信

(3) 各主体の活動アピール等の掲載

(4) 情報の共有

サイト上でファイルの共有が可能